

胸躍る、売れる商品開発

ピカソ美化学
研究所社長 八木伸夫



あげましておめでとうございます。

昨年化粧品業界だけではなく、世界的にだれも予測のできなかつた年とな

り、年が明けた今年もしばらくの間は予断の許さない経済状況にあります。そのような状況の中、当社は昨年の2月から承認を取得していた指定医薬部外品の消毒シエルを社員やその家族、またお客様向けに生産を開始いたしました。消毒商品が市場に不足していたこともあり、様々な流通の

お客様に消毒シエルを商品化していただき、市場に流通いただくことで多くの方にご使用いただけ、また、様々な自治体にも寄贈させていただき、コロナ禍において微力ながら社会貢献もできたと自負しております。商品開発においては、昨年コロナ禍の影響で新商品企画が思ったようにでき

なかつたお客様も多く、そういったお客様にすぐに商品化していただけるよう美白、抗シワ、育毛剤など様々な医薬部外品の承認済みアイテムを充実させ、スピーディに商品化に進められるよう準備を行いました。化粧品開発でも展示を行っておりますので、ぜひご来場いただければと思っております。

日本のマーケットは今年から徐々に回復していくと考えていますが、いち早くコロナ禍を脱却した中国マーケットの伸びは堅調で、

弊社の上海工場の生産数が増えているだけではなく、日本製の化粧品の引き合いを中国企業の日本法人からいただくことも増えており、今後、日本の工場における中国市場向けの商品がますます増加すると感じます。

年頭にあたり、現在お取引頂いているお客様とさらに強い絆で「売れる化粧品」の市場展開を、そして新たな出会いのお客様と胸躍る商品開発が出来ます事を祈願しております。

(原文のまま)